

## 障害当事者が担うウェブアクセシビリティ検査と情報バリアフリーの推進

BIPROGYチャレンジはBIPROGYグループの特例子会社として、共生社会の実現に向けた取り組みを行っています。

### 取組分野②情報バリアフリー（情報保障）の推進

当社は「すべての人が利用しやすいウェブ環境の実現」を目指して、ウェブアクセシビリティ事業に取り組んでおります。

本事業では障害のある社員15名が中心となって推進しており、社員はIT職の経験の有無にかかわらず、入社後に日本工業規格「JIS X 8341-3:2016」に関する専門スキルの習得や資格取得に取り組めます。当社は、そのための教育環境を整備し、技術習得を支援しています。

障害当事者が中心となって事業を担うことで、行政・企業・公共団体などのクライアントとともに、「すべての人が利用しやすいウェブ環境の実現」に向けて、JIS規格の達成および実装を支援しております。ウェブアクセシビリティに対応することでより多くの人々に情報を広く発信することが可能となります。



#### ユーザビリティの向上

アクセシビリティに対応したウェブサイトは、ユーザーにとってより使いやすく理解しやすいものになります。ユーザーのストレスを軽減し快適なユーザーエクスペリエンスを提供することができます。



#### 社会的価値の向上

多様な人々がアクセスしやすいウェブサイトには社会的多様性を尊重することにつながり、社会的責任を果たす企業や組織としての認知度を高めることができます。



#### 社会的競争力の向上

多様なユーザーを取り込むことで、市場の拡大や顧客ロイヤルティの向上を図ることができます。法令遵守やリスク回避にも役立ち、企業や組織の社会的競争力を強化することにつながります。

これらの取り組みを通じて、社会の情報バリアフリー（情報保障）を推進しています。

# BIPROGYチャレンジド株式会社

## 取組分野③援助や配慮を受けやすい空間づくり

当社は、ウェブアクセシビリティ事業部およびビジネスサポート事業部で在宅勤務を導入し、障害特性や体調、交通機関などの地域性に起因する通勤の困難や負荷を最小化する就労環境を整えております。

在宅勤務特有の孤立感を軽減するため、オンライン朝礼・終礼や定期的なオンライン面談を実施してコミュニケーションの活性化を図っています。さらに、年に数回のオンライン懇親会では各自宅へ同じお弁当をお届けし、同じ食事を囲みながら交流する機会を設けています。

このように、物理的な職場に依存しない雇用環境と、ICTの活用による心理的安全性の確保の両面から、すべての社員が安心して能力を発揮できる就労空間づくりに取り組んでおります。

## 取組分野⑥共生社会の実現に向けた取組の情報発信

当社は、社内外のステークホルダーに向けて、障害者への理解促進や共生社会の実現に資する取り組みを、継続的に発信しています。

農園事業では社外向けの野菜販売に加え、社員食堂で野菜を提供し、グループ社員の野菜摂取率向上に貢献することで、社員の健康増進を目指す健康経営に取り組んでいます。また農園見学では、障害のある社員が自ら施設案内や収穫体験の説明を担当し、農作業以外での活躍や情報発信の機会を創出しています。

さらに管理部では、公立中学校での教職員や保護者、手話通訳問題研究会、就労移行支援事業所等での出張セミナーなど、幅広い教育・福祉機関に向けて登壇の機会をいただき、情報提供を行っています。

これらの活動を通して、当社の事業内容や職場定着支援体制の具体的な事例を知っていただくことで、多様な人材が活躍できる共生社会の実現に向けた理解促進を図っています。

### 企業・団体情報

企業名：BIPROGYチャレンジド株式会社

住所：東京都江東区豊洲1-1-1

事業概要：ICTサービス事業

(Webアクセシビリティ診断事業、

データエントリー事業)屋外型農園の運営、その他関連事業

URL：<https://biprogy-chd.co.jp/>

